

中国のかんがい施設「都江堰」と類似

# 五郎兵衛用水「縁」ひもとく

## 佐久で来月16日から企画展



都江堰と似た工法を採用して開削された五郎兵衛用水

佐久市を流れる五郎兵衛用水と、中国四川省のかんがい施設「都江堰」の縁についてひもとく企画展が3月16日から、佐久市五郎兵衛記念館で開かれる。工法などに縁があるとされる両施設の歴史を知ってもらおう狙い。在日中国大使館が提供する資料の展示や、土木工学研究者による講演もある。

世界文化遺産にも登録されている。約2300年前の戦国時代、秦の地方行政官だった李冰、李二郎父子によって建設された。川の中に堤防を築き、水流を分散させて取り入れる技術を用いている。

都江堰の技術は、後にできた中国内外のかんがい施設にも生かされ、類似した設備が見られるという。五郎兵衛用水には、水流に対して斜めに堤防を築く「斜め堰」という都江堰と似た仕組みがある。

五郎兵衛用水と都江堰は昨年、国際かんがい排水委員会(ICID)が登録する「世界かんがい施設遺産」に選ばれた。記念館の根沢茂館長は、両施設の工法には類似点がある―と紹介した手紙を中国大使館へ送り、企画展への協力を依頼した。

企画展は3月31日まで。中国大使館が提供した映像や写真といった資料を展示する。16日午後2時から市文化交流館浅科で、竹林征三・富士常葉大名誉教授(土木工学)の講演会「日本の治水史・四千年の系譜」がある。ともに入場無料。問い合わせは五郎兵衛記念館(☎0267・583118)へ。

# 信濃毎日新聞

873年(明治6年)創刊

発行所

信濃毎日新聞社

長野本社 〒380-8541  
長野市南陽町 657番地